

総務建設常任委員会

委員長	藤野 莞嗣
副委員長	脇田 義政
委員	小林 征男
委員	藤木 匠
委員	黒川 悟
委員	鳴海 圭矢
委員	時任 裕史

都市計画課

一本松公園遊歩道改良 工事の概要

一本松公園内のアスレチック広場等に通じる遊歩道の木製階段の一部を撤去し、これに伴う路面整形とスロープ化を行う。合わせて老朽化した木段の部分補修を施工。

Q どのような形で階段を作るのか。

A 木製階段の一部を撤去した後、路面整形してスロープにしていく。

撤去する部分については、

階段を撤去しても急勾配にならないような箇所を選んで行い、スロープにしていく。緩やかな坂のような状態にすれば、事故防止にもつながると考えている。

勾配が強いところは当然階段が必要。できるだけスロープをとって、ところどころには泥の流出防止のため、しがら柵を組んで、ある程度固定していく考えである。

Q 階段の施工については、擬木又は木材、どちらで行うのか。

A 既存が木造であるため、悪い箇所については木材を使用していく。



▲現在、傷んでいる遊歩道



▲平成26年度、修理された遊歩道

まちづくり課

アビスパ福岡宇美町 応援デー実施報告

平成27年11月1日、アビスパ福岡対横浜FC戦を宇美町応援デーとして、さまざまなイベントを開催した。

入場者1万6,776人。観戦招待と優待券の販売、イベントの参加、本町のPR活動、来場者へのプレゼント、以上の大きく分けて4つの事業を行った。

PR活動として観光パンフレット400部の配布。木原町長がスタジアムで挨拶をし、両チームに記念品として特産品の焼酎「宇美さん燦」を贈呈した。

また、試合前、ハーフタイムでは町が作製した観光PRビデオを流した。

Q 今回のイベントには町の持ち出しの費用はあったのか。

A イベント参加者やスタッフを着用した本町の観光PRのためのTシャツ作成費用のみである。

Q 宇美町応援デーは毎年催されるのか。

A できれば毎年していきたいが、来年の話は確定していない。



▲PR用シャツ

厚生文教常任委員会

- 委員長 飛賀 貴夫
- 副委員長 犬塚 齊
- 委員 松下 弘毅
- 委員 大瀬良利之
- 委員 藤木 匠
- 委員 南里 正秀
- 委員 古賀ひろ子

Q 長屋と言われる所で1軒でも住んでいたら、空家にならないのか。

空家にならないのか。

A 法律上、空家の定義では、全戸空家でないと空家にはならない。アパート、マンション等も同じである。

環境課

空家実態調査

平成27年5月26日に空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、県下の全市町村が参加し、福岡県空家対策連絡協議会にて調査検討がなされている。

本町では、来年4月以降に協議会を立ち上げ空家対策計画の策定に取り組む。

実態把握のため、各行政区長に空家の調査を依頼し、現在、21行政区から138軒の空家の報告を受けている。

福祉課

福祉バスハピネス号

平成26年8月に発生した台風15号による強風で、町が設置している『柳原バス停』が倒れ、隣接している民家のフェンスを損傷させる事故が発生した。

現在、各バス停は道路両面に設置されているものが大半で、建物や歩道、水路等に隣接しているものも少なくない。今後、同様の事故を防ぐ予防策として調査を行い、危険性の高いバス停の撤去を含め

て検討することにした。

宇美町総合福祉計画策定

委託 340万円

第6次宇美町総合計画に基づき、地域福祉計画及び高齢者福祉計画を総合的に策定。

既存の障がい者基本計画、障がい福祉計画との整合性を図り、当該計画に盛り込み、宇美町総合福祉計画とし、住民の福祉向上と発展を図ることを目的に平成28年3月末までに策定、計画策定会議を3回程度実施する。

運動器機能介護予防事業

委託 168万円

放置すれば介護リスクが高くなる方を抽出し、運動器機能向上プログラムの実施と評価を行う。

認知機能介護予防事業

委託 96万円

放置すれば介護リスクが高くなる方を抽出し、認知機能向上プログラムの実施と評価を行う。

Q どのような方法でアンケートに答え、教室に参加できたのか。

A 福岡県介護保険広域連合が町内すべての65歳以上の高齢者に対し、10ページにわたるアンケート調査を郵送。

回答の中から介護リスクの高い約20%の方を対象に2次予防教室への参加呼びかけを行った。

運動器機能教室約50名、認知機能教室約120名参加、ともに10月から開始している。

健康づくり課

健康診査（若年者）の実績

生活習慣病及び発病リスクの早期発見を目的に、平成27年度は16歳から39歳まで対象者を拡大し、個人負担金を引き下げ、前年度72人から194人の受診者数となった。

社会教育課

優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる
文科科学大臣表彰受賞

「いきいきいのつこ子ども教室」は平成16年度から、地域の方の指導・協力により、土曜日に井野小学校の児童を対象とし、様々な体験活動を実施。

その活動内容が特に優れているという理由で平成27年12月3日に受賞。



▲地域ボランティアさんと野菜づくり